

海底熱水鉱床採鉱技術開発等調査事業

平成26年度補正予算額 **8.0億円**

事業の内容

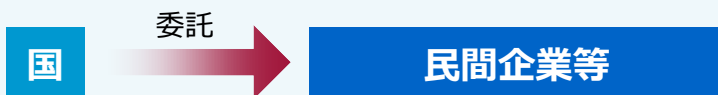
事業目的・概要

- 我が国の競争力を支えるものづくり産業にとって、金属鉱物資源の安定供給確保は必要不可欠であり、海洋鉱物資源は、将来的な供給源として期待されます。
- こうした海洋鉱物資源開発を世界に先駆けて実現するため、技術的な共通課題である「採鉱（鉱石を掘る）」、「揚鉱（揚げる）」、「選鉱・製錬（金属を取り出す）」といった要素技術については、最も商業化に近いとされる海底熱水鉱床を対象として、これらの生産技術の開発を加速化し、他への応用について今後検討します。

成果目標

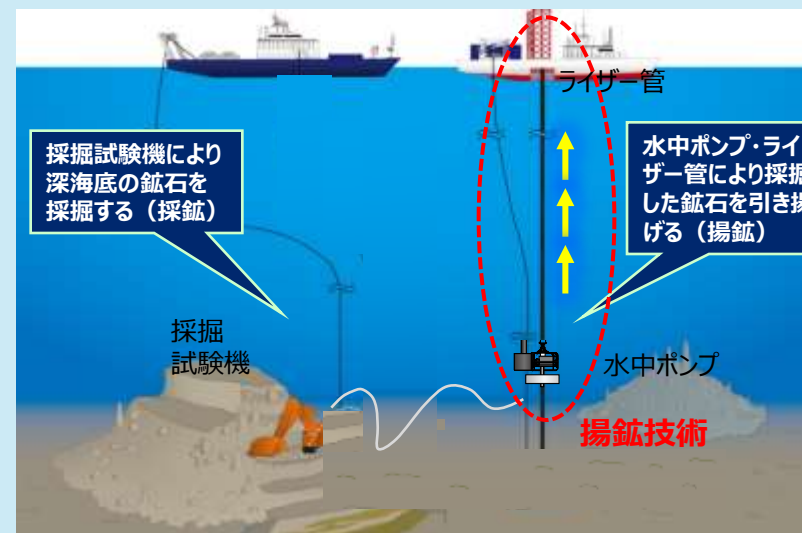
- 平成29年度のパイロット試験の実施に向けて、海底熱水鉱床の開発に必要な4つの技術（採鉱・揚鉱・選鉱・製錬）のうち、揚鉱技術について概念設計・試験を実施し、開発の加速を行うことを目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

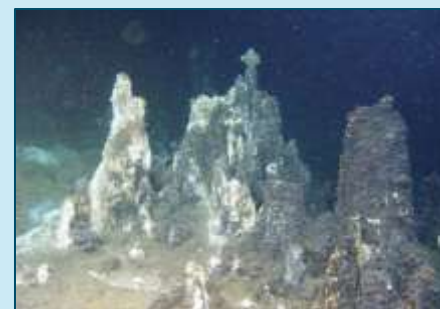


事業イメージ

【採鉱・揚鉱イメージ図】



【海底熱水鉱床】



延伸大陸棚等資源開発促進事業費補助金

平成26年度補正予算額 **10.0億円**

事業の内容

事業目的・概要

- 我が国は、平成20年に大陸棚限界委員会に対して申請を行い、平成24年、委員会勧告により約31万平方キロの大陸棚延伸が認められました。
- このうち、平成26年9月に政令が制定された海域については、海洋資源開発等の主権的権利を有することとなりました。
- 新たに我が国固有の海洋権益となった延伸大陸棚等の海底には、海底熱水鉱床、コバルトリッチクラスト等の海洋鉱物資源の賦存が期待されるものの、まだ十分な探査が行われていません。
- このため、海洋地質情報の解析等により絞り込んだ有望海域について、実海域における高解像度地形調査、電磁探査等による精密資源調査等を行い、我が国の海洋鉱物資源の探査・開発の促進を目指します。

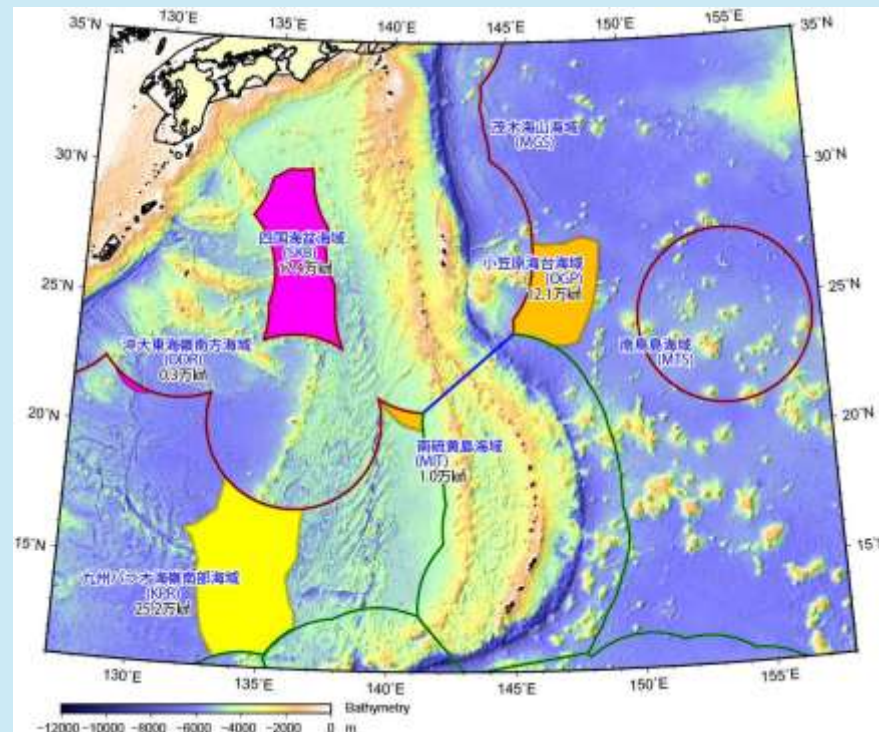
成果目標

- 民間船を活用した広域探査を5件程度実施し、我が国周辺海域における新規の有望鉱床の発見とともに、その資源量把握を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ



- 限界委員会において認められた範囲のうち、平成26年9月に政令が制定された海域
- 限界委員会において認められた範囲
- 限界委員会において審査が先送りされた範囲